

「都構想」住民投票だめ

大阪市議会 井上氏 陳情採択迫る

日本共産党の井上浩大阪市議は26日の市議会財政総務委員会で、「副首都」法案を口実とした「大阪都構想」再浮上の動きに反対することを求める陳情について、「2度の住民投票を通じて本質と狙いを学んだ。こ

れ以上ムダなエネルギーと時間とお金を費やすべきではない」と採択を求めましたが、維新の反対多数で不採択になりました。

陳情は、大阪市の権限・

財源は「制度いじり」ではなく、教育・福祉・防災など暮らしを守る施策に使うべきだと指摘。井上氏は変えるべきは政治の中身であり、3度目の住民投票など認められないと主張しました。

井上氏は、日本政府にイスラエル政府に対して、パレスチナ市民虐殺の即時停止を求めることが、およびパレスチナの国家承認を求める意見書の提出を求める陳情の採択を求めましたが、継続審査となりました。



質問する井上議員

26日、大阪市議会

質問する井上議員

26日、大阪市議会